



寺田 洋 議員

「現地見学&討論会」の開催を!!

市民と現地を結んだ施設の活用方策の検討について

議員

市民と現地を結んだ施設の活用方策の検討ということで、テーマを1つに絞り、現地において、その活用方法を集中的に論議し合う場を設けてみたらどうか。例えば、あすなるの里の活用というふうな議題を絞り、あすなるの里で討論を行う。地域交流センターの問題は地域交流センターに向いてそこで行う、にぎわい広場ならにぎわい広場で行う。事前に広報やホームページ等で連絡し、いろいろな提言をお持ちの方や施設に関心のある方に集まっていたら、施設を見学し説明を受け、その現場において様々な討議を行うという手法である。公民館や市庁舎ではなく現場で行うところが大切である。ホームページ等での結果報告はもちろんだが、すばらしい提案に関しては真摯に向き合うことが大切で、当該部署での検討も必要である。市民の皆さまの斬新なアイデアによる改革が必要だと思ふ。開催を検討していただきたい。

企画部長

関係者が直接現場に向き、その中で活用方法等を集中的に議論するという方法は、現状を確認しながら、また感じながら施設の効率化や活用策を検討する上での有効な手法の1つであると考えられる。今後はそれぞれの施設を所管する担当部署と協議し、調整を図っていきたい。

議員

常総市には175もの施設がある。ただ、現在はまだ縦割り行政が強く感じられ、調整会議等も有効に活用されていない気がする。いろいろな連携をとり、ぜひすばらしい常総市に変えていくように、行政と我々立法を含め、みんなで頑張っていきたいものだと思っている。



□ 図 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 図 質 問

さらなる市役所サービス向上をめざして☆



日曜日の市役所開庁の成果と平日夜間の市役所窓口サービスの拡大について



大澤 清 議員

議員

旅券の交付も行っている。

現在行っているサービスのほとんどは単純に証明書の交付であり、自動交付機とあまり変わらないのではないかと。例えば、転入手続や旅券・母子手帳については交付のみでなく申請手続きができれば、さらにサービス向上になると思う。特に共働き世帯の方のために、週1日でも時差勤務を利用し、夜間窓口サービスを実施する考えはあるか。

市民生活部長

日曜開庁は市民課だけの対応のため、転入転出の手続きはできない。夜間サービスは今検討しているが、職員をどれくらい張りつけるかが問題である。時差出勤・振替勤務にするため、時間・代休が発生するため、窓口の職員が減り、その時間帯のサービス減は免れないと思う。

議員

うまくシフトをしてやっていただければありがたい。週1日夜7時くらいまでだとしても市民にとっては大変喜ばしいサービスではないかと思う。

市長

平日夜間にも転入の手続きができるよう、関係課で話し合い、努力していきたい。

市民生活部長  
 戸籍・住民票・印鑑登録・税証明書の交付業務、本庁舎では

議員

日曜開庁で行っている窓口サービスは。

日曜開庁1回あたり約21人で、通常の市民課業務と比較すると少ないと言える。

市民課長

休日の市役所開庁は、市民の皆さまからも喜んでいただいていると思う。日曜開庁の利用人数は平日と比較してどうか。

議員